

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	坂本 真士	所属	日本大学文理学部
研究会等名称	Depression 研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)  延べ人数  会員 14 名 (うち認定心理士 2 名)  非会員 85 名 (うち認定心理士 名)  (ただし参加者リスト不備のため、目視による概数)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等  (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>実施内容 本研究会では、研究会メンバによる研究成果を一般に広く公開するため、一般向けのシンポジウムを年度末に行ってきたが、本年度は諸事情のため、心理学会の大会内でのシンポジウム等で研究成果を公表し、来場者との情報交換を行うこととした。</p> <p>具体的には、以下の2つの会を催した。</p> <p>①日本産業カウンセリング学会第 24 回大会 (於：大妻女子大学千代田キャンパス)  日時：8 月 25 日 (日) 14:45～16:45  タイトル：職場の不適応—新型うつを理解と対応—  登壇者 (登壇順)：塚原拓馬、亀山晶子、佐久浩子、坂本真士、小玉一樹  内容：産業現場では対応困難事例として「新型うつ」の事例が問題となっている。この学会には実務家が多く参加することから、我々の研究成果がどのように現場に還元できるかを、実務家とともに検討した。</p> <p>②日本心理学会第 83 回大会 (於：立命館大学大阪いばらきキャンパス)  日時：9 月 13 日 (金) 13:20～15:20  タイトル：新しいタイプの抑うつ症候群への心理学アプローチ「新型うつ」とは何だったのか—  登壇者 (登壇順)：坂本真士、山川樹、中島実穂、佐々木淳、吉野聡  内容：主に研究者を対象に、一般に「新型うつ」と呼ばれている新しいタイプの抑うつが、心理学からはどのように整理できるのか、これまでの成果を通して説明し、フロアとの意見交換をした。</p> <p>成果 ①については、手違いで研究参加者リストを持参せず、来場者の記録をとることができなかったが、40 名程度が参加した。フロアからの意見が多数聞かれ、「新型うつ」に混乱している現場が、学術の進展に期待していることが伝わった。②については、アンケート形式で意見聴取と参加者のカウントを試みたが、未提出や無記名も多く、正確な人数はわからなかった。特に若手研究者が、これまでのイメージとは異なる抑うつについて高い関心を寄せていることが、アンケート結果よりうかがえた。</p> <p>将来計画 次年度も引き続き、現場と研究をつなぐ催しを実施したい。正確な来場者数がカウントできなかった点は反省したい。</p>		

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
Depression研究会				
研究集会開催日： 2019年8月25日(日)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	坂本真士	日本大学	○	
2	亀山晶子	日本大学	○	
3	佐久浩子	日本大学		
4	塚原拓馬	実践女子大学	○	
5	山蔦圭輔	大妻女子大学	○	
6	小玉一樹	福山平成大学		
7	小倉泰憲	山形大学理学部教授		
8	甲斐祥子	株式会社巴商会 総務部人事課		
9	川本優子	S' APPUYER Consulting合同会社 代表		
10	酒井卓也	株式会社 明電舎 生産統括本部 安全衛生管理部 安全衛生統括課 主任		
11	(その他、具体的なお名前や所属は確認できなかった参加者30名程度)			
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉					
Depression研究会					
研究集会開催日： 2019年9月13日(金)					
	氏名	所属	会員	認定 心理士	
1	坂本真士	日本大学	○		
2	亀山晶子	日本大学	○		
3	佐久浩子	日本大学			
4	佐々木淳	大阪大学	○		
5	吉野聡	吉野聡産業医事務所			
6	中島実穂	国立精神・神経医療研究センター	○		
7	山川樹	東北文化学園大学	○		
8	村中昌紀	静岡福祉大学	○		
9	勝谷紀子	北陸学院大学	○	○	
10	長谷川晃	東海学院大学	○		
11	楠本龍一	誠信書房			
12	甲田宗良	徳島大学	○		
13	匿名希望	大阪教育大 3回生			
14	匿名希望	立命館大学 学部生			
15	長谷川美南	立命館大学 学部生			
16	大橋吹喜	香川大学 3年生			
17	匿名希望	未記入			
18	匿名希望	未記入			
19	匿名希望	未記入		○	
20	匿名希望	未記入	○		
21	匿名希望	未記入			
22	匿名希望	未記入			
23	匿名希望	未記入			
24	匿名希望	未記入			
25	(その他、具体的なお名前や所属は確認できなかった参加者35名程度)				

(様式5)

2020年3月10日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 Depression研究会

研究会番号 19004

助成金額

年月日	項目	金額
2019年9月13日	シンポジスト謝金 (1名)	¥10,000
2020年3月13日	返金 (日本心理学会)	¥20,000
支出合計		¥30,000